

2023年度インターンシップ受入テーマ一覧

No.	受入可能部署名 Dept. in charge	研修実施場所 Field centers	テーマ Theme	受入人数 student capacity	受入条件 Requirements				実習日数 (休日除く) Duration	実習期間 Training period		実習概要 Program Overview	備考 Remarks	コロナ拡大時の対応 Action to be taken in case of COVID-19 outbreak
					区分 School	専攻学科等 Major	学年 Academic year	その他 Other requirements		開始日 Start date	終了日 End date			
M-1	航空技術部門基盤技術研究ユニット Fundamental Aeronautics Research Unit, Aviation Technology Directorate	調布 Chofu	大気突入技術に関する研究 Research on Atmospheric Entry Technologies	3	指定なし Unspecified	指定なし Unspecified	指定なし Unspecified	外国人受け入れ可能 Open to international students 英語若しくは日本語が話せれば応募可能 English and/or Japanese speaker may apply	5日間 5days	8月28日 28/08/2023	9月1日 01/09/2023	大気突入時の環境を地上模擬する装置の一つである、衝撃波管運用に関わることで、その実験手法や原理を学び、計測に関する研究の一部を体験する。 Through the operation of a shock tube, which is one of the devices that simulates the environment of atmospheric entry on the ground, students learn its experimental methods and principles, and experience part of research related to measurement.	研修は、三鷹市にある調布航空宇宙センター飛行場分室で実施します Training will be conducted in Aerodrome Branch of the Chofu Aerospace Center	中止 Suspension
M-2	宇宙科学研究所 科学衛星運用・データ利用ユニット Science Satellite Operation and Data Archive Unit, ISAS	相模原 Sagamihara	科学衛星の公開アーカイブデータへ効率的にアクセスするための情報システムの研究開発 Research and development of information systems for efficient use of public archive data of ISAS science satellites	2	指定なし Unspecified	指定なし Unspecified	大学3年以上または 高専の専攻科1年以上 Above third year at university OR Advanced course at College of technology	プログラミングの基礎的な知識が必須 Knowledge of programming required. 外国人受け入れ可能 Open to international students 英語若しくは日本語が話せれば応募可能 English and/or Japanese speaker may apply	10日間 10 days	8、9月頃予定 in August or September		宇宙科学研究所が保有している科学衛星の公開アーカイブデータの利用を体験し、そのデータに効率的にアクセスして表示・提供するためのウェブシステムの機能改良等の開発に取り組む This program provides experience in the use of public archive data of scientific satellites held by ISAS, and in the development of functional improvements to the web system for efficiently accessing, displaying, and providing such data.	Python, HTML等の知識を有している、あるいは短期間に習得するためのプログラミング一般の素養を備えていることが望ましい。AWSやAzure等のクラウドを用いたWebアプリ構築の経験を有していればなお望ましい。日程は大学の夏休み期間を軸に、協議の上で決定する。 It is desirable to have knowledge of Python, HTML, etc. or general programming background. Experience in building web apps using AWS, Azure, or other cloud computing is preferred. Dates will be determined by mutual agreement based on the university's summer vacation period.	オンラインに切替 Shift to online
E-3	宇宙教育推進室 Space Education Office	相模原 Sagamihara	宇宙科学ミッションを題材にした宇宙教育のグローバルコミュニケーション Global communication of JAXA's space science education	2	大学・大学院 university/graduate school	指定なし Unspecified	大学3年以上 Above third year at university	英語力が必須 English proficiency required 外国人受け入れ可能 Open to international students	10日間 10 days	7、8月頃予定 in July or August		JAXAの宇宙科学ミッションを題材にした英語による教育コンテンツの作成・発信作業(研究者へのインタビューとその映像編集、ウェブ・SNSコンテンツの制作を行い、効果的な国際連携の検討の機会を提供する。 This program will provide opportunities to work on global communication items, such as interviewing researchers at ISAS and editing the video clip, SNS or web contents to be released from our webpage. We hope it may trigger students to think how to develop better international relations in space.	宇宙教育・宇宙科学・宇宙における国際協力に関心があること。英語ネイティブ又はそれに準じる高い英語能力を有することが望ましい。 International students interested in space education, space science, international relations and Japan are most welcome to apply. Native-speaker level English proficiency or equivalent is desirable.	オンラインに切替 Shift to online
J-4	航空技術部門 設備技術研究ユニット	調布	流体の基礎実験と解析に関する実習	9	大学・大学院	主として工学系、理学系	大学3年以上	機械系の知識とプログラミングの知識が必要 自身が使用する可搬型(ノート型等)PC(OS:Win10以上が望ましい)を用意できること 非居住者及び特定類型該当者の参加は不可	5日間	11月6日	11月10日	小型低乱風洞による風洞実験とCFD解析を行い、結果の比較を行う。(2グループで実施)	大学での機械実習、プログラミング実習、解析経験者がグループ内にいることが望ましい。	オンラインに切替
J-5	航空技術部門 設備技術研究ユニット	調布	流体の基礎実験と解析に関する実習	9	大学・大学院	主として工学系、理学系	大学3年以上	機械系の知識とプログラミングの知識が必要 自身が使用する可搬型(ノート型等)PC(OS:Win10以上が望ましい)を用意できること 非居住者及び特定類型該当者の参加は不可	5日間	2024/2/26	2024/3/1	小型低乱風洞による風洞実験とCFD解析を行い、結果の比較を行う。(2グループで実施)	大学での機械実習、プログラミング実習、解析経験者がグループ内にいることが望ましい。	オンラインに切替
J-6	財務部	筑波	財務業務に関する分析及び機構内情報共有の改善	2~3	指定なし	指定なし	指定なし	パワーポイントによる報告書作成やHPを活用した情報発信に関する知識・関心があることが望ましい	7日間	9月上旬予定		財務部内及び部外の職員との間で情報共有が不足していることにより、非効率になっている財務業務がないかを分析し、改善提案をする。	・インターンシップ開始前に、独立行政法人会計基準と電子帳簿保存法で求められる帳票類の保存要件、国税庁の電子帳簿保存法一問一答を確認しておくことが望ましい。 ・研修中に調布航空宇宙センター、相模原キャンパスへの外勤の可能性あり(交通費は自己負担) ・Wi-Fiに接続可能なPCを持参。	中止
J-7	宇宙教育推進室	相模原	非言語的表現による宇宙教育教材の検討	2	指定なし	指定なし	指定なし		10日間	7、8月頃予定		イラスト又は動画等を活用し、日本語話者以外でも少ない言語的補足で、理解しやすい宇宙教育教材を提案・試作する。	イラストが描ける又は動画制作の経験があることが望ましい。	オンラインに切替
J-8	有人宇宙技術部門事業推進部	筑波	有人部門コミュニティ・ペーパー(社内報)の作成	4	大学・大学院	指定なし	大学2年以上	パワーポイントやフォトショップなどの利用に通じていると良い。	10日間	8月21日	9月1日	テレワーク下の交流促進のため、各職員の紹介を中心とした社内報を作成する。作成にあたっては、職員への取材、写真撮影、紙面作成などを行う。	応募時に、アイデアやサンプル(A4一枚)を同封いただけると良い。 成果物に関して、別添の「著作権に関する同意書」を提出頂きます。	中止
J-9	宇宙科学研究所・宇宙物理学研究系	相模原	宇宙科学研究所が公開する天文衛星データアーカイブの検証	2	大学・大学院	理工学系	大学3年以上	Linux/Unixに習熟していること。 外国人受け入れ可能	10日間	9月4日	9月15日	宇宙科学研究所は、JAXAの天文衛星が取得した様々なデータやツールをDARTS(https://darts.isas.jaxa.jp)から公開している。これらのデータとツールを使って、代表的な天体について、期待される結果が得られることを検証する。また、データやツールの説明文書・Webページが十分であるかどうかを確認する。	日程は調整可能。天文学の基礎的な知識を持っていることが望ましい。	オンラインに切替
J-10	宇宙科学研究所宇宙物理学研究系	相模原	宇宙マイクロ波背景放射の偏光観測用望遠鏡の開発研究体験	6	大学	理系 or 工学系	大学1年 - 3年		10日間	8月7日	8月21日	宇宙マイクロ波背景放射の偏光を観測研究するための基礎を学ぶ。ミリ波観測装置をもちいた実験・実習をおこなう。宇宙論・光学他の講義や輪講もおこなう。	電磁気学の基礎を理解していること。	中止
J-11	宇宙科学研究所宇宙物理学研究系	相模原	フォトグラメトリ測定による宇宙マイクロ波背景放射観測望遠鏡の形状変化の評価体験	3	大学	理系 or 工学系	大学1-3年		10日間	8月21日	9月1日	宇宙マイクロ波背景放射の観測実験の基礎を学ぶ。ミリ波望遠鏡の形状変化をフォトグラメトリ測定技術を用いて評価する実験・実習を行う。宇宙論・光学他の講義や輪講も行う。	電磁気学とプログラミングの基礎を理解していることが望ましい。	中止
J-12	宇宙科学研究所宇宙物理学研究系	相模原	宇宙マイクロ波背景放射観測に向けた超伝導検出器の性能評価体験	3	大学	理系 or 工学系	大学1年-3年	特になし	10日間	8月21日	9月1日	宇宙マイクロ波背景放射(CMB)の観測実験の基礎を学ぶ。実習は、超伝導検出器TESの読み出し試験を行う。宇宙論・光学他の講義や輪講もおこなう。	電磁気学とプログラミングの基礎を理解していることが望ましい。	中止
J-13	宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系	相模原	宇宙マイクロ波背景放射観測衛星の極低温熱制御デバイスの研究開発体験	4	大学	工学系 or 理学系	大学1~3年生		10日間	8月21日	9月1日	宇宙マイクロ波背景放射観測および宇宙機の熱制御技術の基礎を学ぶ。実習では、放射冷却V-groove構造の極低温宇宙環境における特性評価試験および解析を実施する。	熱工学分野の基礎を理解していることが望ましい。	中止
J-14	研究開発部門 研究推進部 角田管理課	角田	東北エリアを対象とした角田宇宙センターオリジナルの広報・アウトリーチ活動案の検討	3~4	指定なし	指定なし	大学2年以上	特になし	7日間	7月~12月(予定)		角田宇宙センターは、東北エリアでJAXA最大の拠点として、一般の方を対象とした展示室の運営や一般公開等のイベント、小学生を対象とした宇宙教室の実施や地元角田市との協力による地域振興の取組みなど様々な広報普及、教育、地域連携の取組みを進めている。他方、依然として角田宇宙センターの知名度は低く、開拓の余地が大きいと考えているところ、従来にない新しいアプローチ(※)で角田宇宙センターの活動を知らせてもらう案の検討と具体化をチームで行ってもらう予定。 ※新しいアプローチの中には、定常化しつつあるオンラインイベントについて、角田宇宙センターの魅力を発信できるコンテンツの作成や具体的なイベント案の提案、そのイベントを実施した際の広報効果等の分析、検討を含む。	実習期間中の土日にイベント対応等の実習を体験してもらう可能性あり	中止